

読解力向上プラン Ver.1

読解力育成のため、まずはここから始めよう ～はじめの一步～

○読書を推進し、未知の世界や新しい言葉と出会う楽しさを味わわせ、豊かな心を育みましょう。 ・読み聞かせをする。 ・本を読ませる。 ・新聞を読ませる。	○全ての教科等において、声に出して読むことを大切にしましょう。 目と耳を働かせ、語のまとまりに注意して読むことで、言葉や文の意味を正確に理解できます。	○正しい筆記用具の持ち方で丁寧に書かせ、学習に向かう基本的な姿勢を育てましょう。 ・視写 ・聴写	○集中力をコントロールし、正しい手順で正確に処理できるよう、自己調整力や粘り強さを育てましょう。 ・筆算・実験・観察 ・調理
---	--	--	--

学年の目安	指導のポイント(意識的に取り組むこと)	RSの視点
低学年	① 主語と述語を明確にして、見たことを短い文で説明させる。	係り受け解析
	② 身近な自然に接する時間をとり、対象をじっくり観察させる。	イメージ同定
	③ 言葉や文と、絵や図とを対応させて考えられるようにする。	イメージ同定
中学年	④ 学習のめあてに沿った振り返りやまとめをさせる。	同義文判定
	⑤ 記述式の解答が正答例と同義であるか判断させ、同義になるように修正させる。	同義文判定
	⑥ 見たことを正確に文章にしたり、絵に描いたりする活動をさせる。	イメージ同定
	⑦ 図や表、グラフを活用して文章等にまとめさせる。	イメージ同定
	⑧ 「～を・・・という」のような定義文を全員で確認するようにする。	具体例同定
高学年以上	⑨ 知識を暗記させるのではなく、意味を理解できるよう、理由を口頭で説明させたり、具体例を挙げて説明させたりする。	具体例同定
	⑩ 主観的な表現(～と思った、～がおもしろかった等)を制限し、論理的に考え、表現させる。	具体例同定
	⑪ 「とても」「すごく」「よかった」などの定型的な言葉を使わずに文章を書いたり話したりさせる。	係り受け解析 具体例同定
	⑫ 人に何かを伝えるときには、見たことや聞いたこと、考えたことを省略せずに丁寧に説明させる。	照応解決
	⑬ 箇条書きを使って、時系列で客観的に手順を説明させる。	同義文判定 イメージ同定
	⑭ 既存の知識と習得した知識を活用して論理的に説明させる。	推論
	⑮ 用語の定義を理解させ、「とは」を使って説明させる。	具体例同定
	⑯ 複数の段落で構成された文章を200字程度でまとめさせる。	具体例同定

発達段階に応じて特に意識したい時期の目安を示しています。
児童生徒の実態や単元の学習内容に合わせ、柔軟に取り組みましょう。

☆読解力育成のために、先生が心がけたいこと

- (1) 授業の前に、教科書の中の、児童生徒が理解できないと考えられる語や表現を確認しておく。
- (2) 教科書の図や表、グラフなどについては、文章のどの部分と結び付いているのかを確認しておく。
- (3) 「理由」「根拠」「原因」など学習に用いる言葉は、定義を児童生徒と確認してから使う。
- (4) 児童生徒の話を遮ったり簡単に引き取ったりせず、最後まで話をさせる。

単元名（教材名）

せつめいのくふうをつかって、分かりやすいせつめい書を作ろう。

（光村図書『こくご 二下 赤とんぼ』「おもちゃの作り方をせつめいしよう」）

本時の目標

語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。
〔思考力、判断力、表現力等 B書くこと(1)ウ〕

指導のポイント①

主語と述語を明確にして、見たことを短い文で説明させる。

	学習活動	指導上の工夫
導入	○「分かりやすいせつめいのしかた」を考えると学習の見通しをもつ。	
展開	☆「分かりやすいせつめいのしかた」を考える。	・例文を用い、順序が分かるように書いたり、「何を」「何に」「どのように」「どうする」を落とさずに書いたりすると分かりやすい文章になることを押さえる。
	○「おもちゃの作り方」を説明する文を書く。	・「分かりやすいせつめいのしかた」を意識して書かせる。
	○書いたものを友達と読み合う。	・順序や、「何を」「何に」「どのように」「どうする」のかが明確に書かれているかに着目して読み合いをさせる。
まとめ	○「分かりやすいせつめいのしかた」を意識して書けたか振り返る。	

☆板書例☆

☆対話例☆

③「何を」「何に」「どのように」「どうする」をおとさずに書く。

☆分かりやすいせつめいのしかた
① さぎょうのじゅんじよのとおりにせつめいする。
② 「まず」「つぎに」「さいごに」などのじゅんじよをあらわすことばをつかって書く。

つぎに……

どのように どうする
きつくむすびます。

どうする
まきつけます。そして、とれないように、

まず、毛系のはしを、まっばつくり
何を
何に

けん玉の作り方

「わゴムを2本かけます」では分かりにくいかな。

「どのように」かけるのかを書くとは分かりやすいんじゃないかな。



「わゴムを2本、+の形になるようかけます」としてはどう？

◇実践のポイント◇

「主語」「述語」は第1学年及び第2学年で、「修飾語」は第3学年及び第4学年で学習する内容です。これらを学習するまでは「何が」「何を」「どのように」「どうする」「どんなだ」などの表現を使い、学習後は適切に学習用語を使って折に触れて指導することで、「係り受け」を意識して話したり聞いたり、書いたり、読んだりすることにつながります。

◇活用できる教材例◇

「あそび方をせつめしよう」東京書籍『新しい国語 二下』

「おもちゃのせつめい書を書こう」教育出版『ひろがることば 小学国語 二下』

ORSTの6分野7項目別結果と、全国学力・学習状況調査(国語)の設問別結果との相関係数

相関係数(効果量 r) ≥ 0.1 小さな相関、 ≥ 0.3 中程度の相 、 ≥ 0.5 大きな相関

	国1一	国1二	国1三 (1)ア	国1三 (1)イ	国1三 (2)イ	国1四	国2一	国2二	国2三	国2四	国3一 (1)	国3一 (2)	国3二	国3三
係り受け解析	.169	.230*	.171	.283**	.198	.193	.176	.229*	.140	.301**	.268**	.364**	.284**	.177
照応解決	.132	.190	-.006	.196	.159	.195	.018	.245*	.153	.279**	.236*	.257*	.193	.115
同義文判定	.197	.229*	.335**	.299**	.307**	.136	-.079	.276**	.103	.287**	.211*	.270**	.145	.180
推論	.054	.177	.097	.250*	.055	.189	.035	.285**	.160	.342**	.138	.131	.169	-.081
イメージ同定	.256*	.202*	.149	.271**	.124	.178	.079	.235*	.162	.395**	.311**	.413**	.254*	.097
具体例同定	.187	.269**	.227*	.316**	.126	.235*	.088	.343**	.207*	.462**	.246*	.293**	.249*	.035
具体例同定(辞書)	.200	.175	.132	.182	.089	.211*	.088	.260*	.209*	.385**	.178	.251*	.124	.043
具体例同定(理数)	.173	.334**	.237*	.336**	.122	.192	.002	.321**	.194	.361**	.263*	.240*	.285**	-.018

**、相関係数は1%水準で有意(両側)。

*、相関係数は5%水準で有意(両側)。

ORSTの6分野7項目別結果と、全国学力・学習状況調査(算数)の設問別結果との相関係数

相関係数(効果量 r) ≥ 0.1 小さな相関、 ≥ 0.3 中程度の相 、 ≥ 0.5 大きな相関

	算1(1)	算1(2)	算1(3)	算1(4)	算2(1)	算2(2)	算2(3)	算2(4)	算3(1)	算3(2)	算3(3)	算3(4)	算4(1)	算4(2)	算4(3)	算4(4)
係り受け解析	.002	.348**	.327**	.253*	.385**	.233*	.437**	.299**	.360**	.406**	.265**	.325**	.261*	.250 ⁰	.366**	.287**
照応解決	.025	.323	.294**	.185	.295**	.234*	.371**	.268**	.365**	.464**	.278**	.293**	.293**	.210*	.383**	.316**
同義文判定	-.015	.336**	.427**	.180	.315**	.182	.417**	.331**	.399**	.370**	.266**	.262*	.335**	.221*	.366**	.214*
推論	-.125	.280**	.240*	.145	.219*	.299**	.226*	.146	.351**	.430**	.242*	.327**	.265**	.176	.320**	.271**
イメージ同定	-.040	.339**	.351**	.179	.309**	.361**	.271**	.327**	.369**	.470**	.231*	.243*	.334**	.278**	.343**	.262*
具体例同定	-.058	.313	.350**	.253*	.340**	.340**	.327**	.279**	.415**	.534**	.373**	.332**	.302*	.275**	.474**	.388**
具体例同定(辞書)	-.073	.298**	.285**	.206*	.237*	.270**	.225*	.213*	.359**	.504**	.312**	.174	.171	.281**	.353**	.378**
具体例同定(理数)	.059	.323	.341**	.281**	.333	.330**	.292**	.276**	.314	.463**	.349**	.375**	.259*	.233*	.441**	.331**

**、相関係数は1%水準で有意(両側)。

*、相関係数は5%水準で有意(両側)。